

事務事業名	大東町地区特定環境保全公共下水道整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
政策名	総合計画体系 〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	事業推進グループ	課長名	藤原重信
施策名		〈11〉下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号 (内線) 0854-42-3471 4610
基本事業名	〈030〉下水道整備の推進	予算科目	会計 2:5 2:5 1:5 1:0 0:1 款 項 目 中事業	大東町地区特環施設整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(14年度~26年度)	処理区域面積 99.4ha、計画人口 3,300人 管路延長 14.9km、終末処理場数 1箇所 計画処理能力 2,000m3/日最大	雲南市合併前に大東町が本事業に着手し、合併後上下水道部下水道課が事業を引き継いだものである

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	<table border="1"> <tr><td>財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td>千円</td><td>60,000</td><td>70,000</td><td>80,100</td><td>7,000</td><td>52,400</td><td>1,351,900</td></tr> <tr><td></td><td>県支出金</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>地方債</td><td>千円</td><td>73,300</td><td>60,000</td><td>75,400</td><td>5,100</td><td>41,100</td><td>1,376,100</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td>千円</td><td>10,745</td><td>11,621</td><td>5,257</td><td>5,250</td><td>6,500</td><td>148,435</td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">事業費計(A)</td><td>千円</td><td>144,045</td><td>141,621</td><td>160,757</td><td>17,350</td><td>100,000</td><td>2,876,435</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td>人</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td>時間</td><td>930</td><td>780</td><td>780</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>千円</td><td>3,547</td><td>3,033</td><td>3,075</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td><td>千円</td><td>147,592</td><td>144,654</td><td>163,832</td><td>17,350</td><td>100,000</td><td></td></tr> </table>	財源内訳	国庫支出金	千円	60,000	70,000	80,100	7,000	52,400	1,351,900		県支出金	千円								地方債	千円	73,300	60,000	75,400	5,100	41,100	1,376,100		その他	千円	10,745	11,621	5,257	5,250	6,500	148,435		一般財源	千円							事業費計(A)		千円	144,045	141,621	160,757	17,350	100,000	2,876,435	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1					延べ業務時間	時間	930	780	780					人件費計(B)	千円	3,547	3,033	3,075	0	0		トータルコスト(A)+(B)		千円	147,592	144,654	163,832	17,350	100,000	
財源内訳		国庫支出金	千円	60,000	70,000	80,100	7,000	52,400	1,351,900																																																																																		
		県支出金	千円																																																																																								
		地方債	千円	73,300	60,000	75,400	5,100	41,100	1,376,100																																																																																		
		その他	千円	10,745	11,621	5,257	5,250	6,500	148,435																																																																																		
	一般財源	千円																																																																																									
事業費計(A)		千円	144,045	141,621	160,757	17,350	100,000	2,876,435																																																																																			
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1																																																																																						
	延べ業務時間	時間	930	780	780																																																																																						
	人件費計(B)	千円	3,547	3,033	3,075	0	0																																																																																				
トータルコスト(A)+(B)		千円	147,592	144,654	163,832	17,350	100,000																																																																																				
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)																																																																																											
工事積算~工事発注~施工管理~竣工~検査																																																																																											

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 管路工 L=2,005m MH 96基 公共樹 176基 舗装 8,947㎡ 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 管路工 L=30m 処理場詳細設計一式	⑤ 活動指標							
		ア 管渠工	m	1,193	770	2,005	50	50	14,900
		イ 処理施設工	式	0	0	0	0	1	1
		ウ 中継ポンプ	式	1	2	0	0	0	6
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	大東特環公共下水道地域内の住民、営業所等	⑥ 対象指標							
		ア 処理(整備)人口	人	2,328	2,575	2,934	2,940	2,950	3,290
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	対象区域内すべての宅内排水を下水道へ接続し、汚水処理を行えるようにする。	ア 接続人口	人	1,064	1,208	1,342	1,400	1,450	3,290
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	生活環境の改善(トイレの水洗化、雑排水のつなぎこみ)で用水路、河川の水質改善を図る。	ア 下水道接続率	%	45.7	46.9	45.7	47.6	49.2	100
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
合併前の大東町が採択を受けた。合併後下水道課が事業継承し、H17年度より汚水処理施設整備交付金事業へと転換した。	特になし	特になし。

事務事業名	大東町地区特定環境保全公共下水道整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	----------------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 衛生的な生活環境の構築を図り、清らかな水環境へとつながる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 事業費が多額であり、民間事業として行うことは不可能である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業採択時の事業計画に基づき計画区域を設定しており、限定・拡充できない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事業採択時の事業計画に基づき計画区域を設定し、汚水処理施設規模を設定しており成果の向上余地はない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 事業認可をとり実施しているので、廃止や休止はできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 近傍に類似事業が無いため、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金交付要綱の設計・積算基準に基づき、適正な設計・積算を行っており、削減する余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているので人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市の負担金徴収条例に基づき、受益者へ応分の負担を求めており、受益者負担は公平・公正になっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	整備はかなり進捗し、完了に近付いた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 主要地方道松江木次線の改良に併せ整備する箇所があり、整合性を図ることが必要。																							